

ときつちょう うちどく すいしん
時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

ちゅうがくねん 2022年 夏号
(中学年) 2022年 夏号



発行：時津町立時津図書館

うちどく 家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく(家読)」です。

難しいルールは要りません。家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

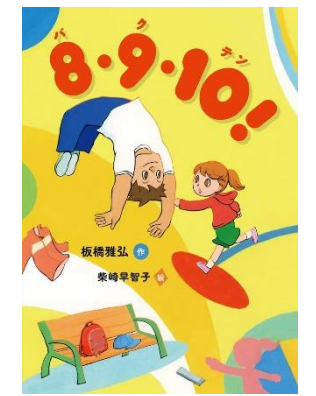
家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



『けんかのたね』

ラッセル・ホーバン/作 小宮 由/訳 大野 八生/絵
(岩波書店)

おとうさんが仕事でへとへとにつかれて帰って来ると家の中は大さわぎ。犬はねこをおいまわし、子どもたちは大声でけんかをしていた。おとうさんがわけをたずねると、みんな「自分は悪くない!」と言う。そこでなぜおこっているのかをひとりひとりにたずねていくと、けんかのたねは意外なことだった。



『8・9・10!』

板橋 雅弘/作 柴崎 早智子/絵
(岩崎書店)

私は小学4年生の女の子。お父さんはいない。お母さんは夜勤でたいへん。だから私の楽しみは、河川敷で自己流ダンスレッスンをすること。

ある日、そこで出会ったおじさんが、見事なバク転を見せてくれた。私は、おじさんからバク転を習うことになった。



『ガチャガチャ・クレーンゲームをつくろう』

いしかわ☆まりこ/作 (汐文社)

ペットボトルやダンボールなどの材料でガチャガチャが作れちゃう! お家の人といっしょにガチャガチャやクレーンゲームづくりに挑戦してみよう! ガチャガチャの景品にぴったりのぬいぐるみやミニブックの作り方ものってるよ! 夏休みの工作にもぴったりだね!



『子どもの本で平和をつくる』

イエラ・レップマンの目ざしたこと』
キャシー・スティンソン/文 マリー・ラフランス/絵
さくま ゆみこ/訳
(小学館)

いつもおなかをすかせているアンネリーゼは、戦争でパパをなくし、心まできずついていました。

ある日、たまたま入った図書館で一人の女の子の人と出会います。それは、本の力で子どもたちを元気にしようとしているイエラ・レップマンという女性でした。



『大ピンチずかん』

鈴木 のりたけ/作
(小学館)

牛乳がこぼれた! どしゃぶりのなのにかさがながい! アイスがとけてきた! 一君のまわりで起こるかもしれない、いろんな大ピンチ。さあ、どうのりきればいいのか?

そのピンチはどれくらいのレベルなの? のりきる方法は? 大ピンチクイズもといってみよう!



『チョコレートタッチ』

パトリック・スキーン・キャトリング/作
佐藤 淑子/訳 伊津野 果地/絵

チョコレートが大すきな男の子のジョン。ある日、ひろった古いコインで「まほうのチョコレート」を買って食べてみた。それは、口にふれたものが全部チョコレートになっちゃうまほうのチョコレートで…。